



# たんぽぽ組だより 8月号

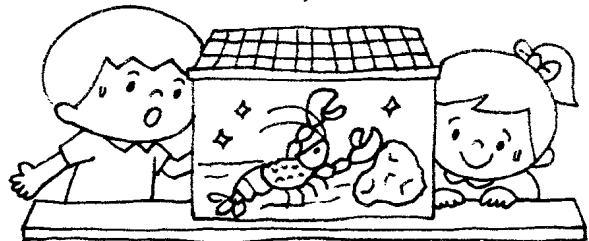


平成29年 8月18日 ことり保育園 担当:安友

ソフトクリームのような入道雲、賑やかなセミの声。気持ち良く汗をかきながら、子ども達は体いっしょに夏を感じています。

先日、子ども同士の会話に耳を澄ましていると、一人の男の子が「ざりやに、ざりやに」と呟いていました。周りの子は「？」の表情だったので、「もしかして…ザリガニ？」と保育者が声を掛けると、男の子はノアッと笑顔になりました。うんうん頷きました。ゆり組のお兄さん・お姉さんが、クラスで飼っているザリガニのお世話をしているところを見学したことが、話のきっかけになったようです。

早速、ホワイトボードにザリガニの絵を描いて皆に見せました。「なんだこれ」「カニかたい」と大喜びでしたが、その後 実際に見る時間を作ると、大抵ハサミやギョウギョウ光る皆中にちゅぷり逃げ腰でした。小さな怯みを後止めする大切さ、自然・生物に触れる機会を持つことの必要性を、改めて感じた出来事でした。



また、最近こんなやりとりがありました。Aくん「ねえねえ」 Bくん「なんだい？」 Aくん「なんだい？」って、それ、安友先生でしょうか〜」 2人「あはははは…」  
保育者の受け答えの口ぐせを覚えてくれたことが嬉しく、同時に

「正しく優しいこぼれ遣いに気を付けよう」と気を引き締めました。日々の保育の中で、これからも一人ひとりの成長を見逃さず、どんな小さな変化でもともに喜べる存在で、ありたいです。

